

8月22日

A会場[ロイトンホール]

開会挨拶

8:55~9:00

特別講演 SL1

9:00~9:50

『脳神経疾患の再生医療—医師主導治験による実用化—』

座長：片山 容一 日本大学医学部 脳神経外科

『脳神経疾患の再生医療—医師主導治験による実用化—』

本望 修

札幌医科大学医学部 附属フロンティア医学研究所 神経再生医療学部門

特別シンポジウム SS1

9:50~11:10

『意識障害の診断および治療の最前線』

座長：鈴木 明文 秋田県立脳血管研究センター  
難波 宏樹 浜松医科大学 脳神経外科

SS1-1 遷延性意識障害患者の脳画像評価

篠田 淳

木沢記念病院・中部療護センター

岐阜大学連携大学院脳病態解析学分野

SS1-2 遷延性意識障害とバクロフェン髄腔内投与治療

平 孝臣、竹田 信彦、光山 哲滝

東京女子医科大学 脳神経外科

SS1-3 意識障害患者に対する低体温療法・積極的平温療法と薬物治療について

田宮 隆<sup>1</sup>、河井 信行<sup>1</sup>、畠山 哲宗<sup>1</sup>、河北 賢哉<sup>1,2</sup>、黒田 泰弘<sup>2</sup>

香川大学医学部 <sup>1</sup>脳神経外科 <sup>2</sup>救急災害医学、附属病院救命救急センター

SS1-4 遷延性意識障害者のQOLを高める看護と今後の課題

紙屋 克子

筑波大学名誉教授

SS1-5 意識障害—リハビリテーションの挑戦—

近藤 和泉

独立行政法人国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

教育講演 TL1

11:10~11:30

『意識障害の成因と神経系脱分極現象』

座長：大熊 洋揮 弘前大学医学部 脳神経外科

『意識障害の成因と神経系脱分極現象』

柳本 広二

独立行政法人国立循環器病研究センター 疾患分子研究室

一般演題 A1

11:30~12:10

『病態とイメージング (1)』

座長：周郷 延雄 東邦大学医療センター大森病院 脳神経外科

A1-1 意識障害と脳内クロストーク現象

上田 孝<sup>1</sup>、近藤 隆司<sup>2</sup>、矢野 英一<sup>2</sup>、小城 亜樹<sup>2</sup>、小田 憲紀<sup>2</sup>  
黒木 修平<sup>2</sup>、黒木 詠冶<sup>2</sup>

医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 <sup>1</sup>脳神経外科 <sup>2</sup>放射線部

A1-2 安静時 functional MRI を用いた頭部外傷後遷延性意識障害症例の  
脳の機能的結合の検討

池亀 由香、浅野 好孝、野村 悠一、米澤 慎悟、篠田 淳

木沢記念病院・中部療護センター

A1-3 交通外傷後遷延性意識障害例の白質損傷・白質変化と1年後の意識障害  
改善度との関連

阿部 浩明<sup>1,2,3</sup>、長嶺 義秀<sup>1</sup>、千葉 朋浩<sup>4</sup>、大内田 裕<sup>3</sup>、近藤 健男<sup>3</sup>  
藤原 悟<sup>5</sup>、出江 紳一<sup>3,6</sup>

<sup>1</sup>東北療護センター

広南病院 <sup>2</sup>リハビリテーション科 <sup>4</sup>放射線科 <sup>5</sup>脳神経外科

<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科 肢体不自由学分野

<sup>6</sup>東北大学大学院医工学研究科

A1-4 重症頭部外傷後遷延性意識障害患者の白質損傷の定量的評価

浅野 好孝<sup>1</sup>、池亀 由香<sup>1,2</sup>、野村 悠一<sup>1</sup>、米澤 慎悟<sup>1</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター

<sup>2</sup>岐阜大学大学院 医学系研究科 脳病態解析学

A1-5 時間周波数解析を用いた交通外傷後遷延性意識障害患者体性感覚誘発磁界  
反応

菅野 彰剛<sup>1</sup>、中里 信和<sup>2,3</sup>、長嶺 義秀<sup>4</sup>、藤原 悟<sup>4</sup>、川島 隆太<sup>1</sup>

東北大学 加齢医学研究所 <sup>1</sup>脳機能開発研究分野 <sup>2</sup>神経電磁気生理学分野

<sup>3</sup>東北大学 大学院 医学系研究科 てんかん学分野

<sup>4</sup>広南病院 東北療護センター

## ランチオンセミナーLS1

12:15~13:05

座長： 富永 悌二 東北大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野  
共催： 田辺 三菱製薬株式会社

### 『心原性脳塞栓症の現状と抗凝固療法』

上山 憲司

社会医療法人 医仁会 中村記念病院 脳神経外科 脳卒中センター

## 一般演題 A2

13:10~13:50

### 『病態とイメージング (2)』

座長： 藤原 悟 一般財団法人 広南会 広南病院

#### A2-1 一酸化炭素中毒急性期の FDG-PET 定量検査による神経学的予後予測の可能性

河井 信行<sup>1</sup>、畠山 哲宗<sup>1</sup>、切詰 和孝<sup>2</sup>、河北 賢哉<sup>2</sup>、黒田 泰弘<sup>2</sup>

田宮 隆<sup>1</sup>

香川大学 医学部 <sup>1</sup>脳神経外科 <sup>2</sup>災害救急医学

#### A2-2 重症頭部外傷慢性期患者の機能改善と脳 FDG-PET 所見の検討

内野 福生、岡井 匡彦、岡 信男、小瀧 勝

千葉療護センター 脳神経外科

#### A2-3 頭部外傷後意識障害における下垂体機能と FDG-PET の関係について

畠山 哲宗<sup>1</sup>、河井 信行<sup>1</sup>、河北 賢哉<sup>2</sup>、田宮 隆<sup>1</sup>

香川大学 医学部 <sup>1</sup>脳神経外科 <sup>2</sup>医学部附属病院 救急救命センター

#### A2-4 fMRI、MEG を用いた遷延性意識障害症例の音声刺激評価

河野 寛一<sup>1</sup>、川越 香奈子<sup>2</sup>、矢野 めぐみ<sup>2</sup>

潤和会記念病院 <sup>1</sup>リハビリテーション科 <sup>2</sup>医療療養病棟

#### A2-5 注意機能の低下は左半球の脳損傷と関連する

仁木 千晴<sup>1</sup>、熊田 孝恒<sup>2</sup>、丸山 隆志<sup>1,3</sup>、佐藤 由紀子<sup>4</sup>、田村 学<sup>1,3</sup>

新田 雅之<sup>1,3</sup>、村垣 善浩<sup>1,3</sup>、岡田 芳和<sup>3</sup>

東京女子医科大学 <sup>1</sup>先端生命医科学研究所 <sup>3</sup>脳神経センター

<sup>4</sup>東京女子医科大学病院 社会支援部

<sup>2</sup>京都大学大学院 情報学研究科

## 特別シンポジウム SS2

13 : 50 ~ 15 : 30

### 『音楽療法』

座長：野田 燎 大阪芸術大学 初等芸術教育学科  
上田 孝 医療法人社団 孝尋会 上田脳神経外科

#### SS2-1 北海道の音楽療法の今～15年間を振り返りこれからに向けて～

一戸 憲子

NPO 法人北海道音楽療法センター音楽療法士  
池上グローバルアカデミー専門学校 講師  
札幌文化アカデミー 講師

#### SS2-2 意識障害患者への音楽運動療法の試み

五十嵐 路子<sup>1,2</sup>、荻野 ひとみ<sup>2</sup>、寺田 真澄<sup>2</sup>、島田 英子<sup>2</sup>、猪口 奈未<sup>2</sup>

<sup>1</sup>旭川大学 短期大学部 幼児教育学科

<sup>2</sup>MWC(ミュージックワンダークラブ)

#### SS2-3 音楽が脳に及ぼす影響

上田 孝<sup>1</sup>、近藤 隆司<sup>2</sup>、矢野 英一<sup>2</sup>、小城 亜樹<sup>2</sup>、小田 憲紀<sup>2</sup>

黒木 修平<sup>2</sup>、黒木 詠冶<sup>2</sup>

医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 <sup>1</sup>脳神経外科 <sup>2</sup>放射線部

#### SS2-4 ‘音楽トランポリン療法’の医学的検証

---リズムとバランスと脳賦活効果---

後藤 幸生

愛知医大(麻酔集中治療)心身バランス反応情報学研究室

#### SS2-5 音楽運動療法による実践例

野田 燎

大阪芸術大学芸術学部 初等芸術教育学科

## 一般演題 A3

15 : 30 ~ 16 : 10

### 『病態とイメージング(3)』

座長：丸山 隆志 東京女子医科大学 脳神経外科

#### A3-1 遷延性意識障害患者に対してバクロフェン髄腔内投与を行い意識改善が認められた一例

関 俊隆、笹森 徹、伊藤 康裕、月花 正幸、中山 若樹、寶金 清博

北海道大学大学院 医学研究科 医学部 脳神経外科

A3-2 化学療法に続く全脳照射中に増悪し意識障害を呈した中枢神経系原発悪性リンパ腫の一例

出口 誠<sup>1</sup>、梶原 浩司<sup>2</sup>、貞廣 浩和<sup>1</sup>、五島 久陽<sup>1</sup>、杉本 至健<sup>1</sup>  
野村 貞宏<sup>1</sup>、鈴木 倫保<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山口大学 医学部 脳神経外科

<sup>2</sup>宇部西リハビリテーション病院 脳神経外科

A3-3 皮質下出血で発症した Isolated Cortical Vein Thrombosis の一例

原田 直幸<sup>1</sup>、高島 伸之介<sup>2</sup>、安藤 俊平<sup>1</sup>、福島 大輔<sup>1</sup>、榊田 博之<sup>1</sup>  
野本 淳<sup>1</sup>、近藤 康介<sup>1</sup>、周郷 延雄<sup>1</sup>、松浦 浩<sup>2</sup>、高岡 淑郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医学部医学科脳神経外科学講座（大森）

<sup>2</sup>埼玉脳神経外科病院

A3-4 意識障害を伴う救急搬送患者の CT 対応と問題点について

小田 憲紀<sup>1</sup>、近藤 隆司<sup>1</sup>、矢野 英一<sup>1</sup>、小城 亜樹<sup>1</sup>、黒木 修平<sup>1</sup>  
黒木 詠冶<sup>1</sup>、上田 孝<sup>2</sup>、宮崎 紀彰<sup>3</sup>

医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 <sup>1</sup>放射線部 <sup>2</sup>脳神経外科 <sup>3</sup>麻酔科

A3-5 当院におけるシャント圧確認 X 線撮影の現状

山田 裕一<sup>1,2</sup>、山口 浩和<sup>1</sup>、糟谷 幸徳<sup>1</sup>、福山 誠介<sup>1</sup>、野村 悠一<sup>3</sup>  
米澤 慎悟<sup>3</sup>、浅野 好孝<sup>2,3</sup>、篠田 淳<sup>2,3</sup>

木沢記念病院 中部療護センター <sup>1</sup>放射線技術部 <sup>3</sup>脳神経外科

<sup>2</sup>岐阜大学医学系研究科医科学専攻脳病態解析学分野

一般演題 A4

16 : 10 ~ 17 : 00

『治療のアプローチとその成果』

座長： 田宮 隆 香川大学 医学部 脳神経外科

喜多村 孝幸 日本医科大学 武蔵小杉病院 脳神経外科

A4-1 遷延性意識障害に対する脊髄刺激療法:脊髄刺激の刺激条件についての検討

山本 隆充<sup>1</sup>、渡辺 充<sup>2</sup>、小林 一太<sup>2</sup>、大島 秀規<sup>2</sup>、深谷 親<sup>1</sup>、吉野 篤緒<sup>2</sup>  
片山 容一<sup>2</sup>

日本大学医学部脳神経外科学系 <sup>1</sup>応用システム神経科学分野 <sup>2</sup>神経外科学分野

A4-2 脳卒中後遺症に対する ITB 療法の有効性に関する検討-遷延性意識障害も含めて-

中山 晴雄<sup>1</sup>、長尾 建樹<sup>2</sup>、石井 匡<sup>1</sup>、岩間 淳哉<sup>1</sup>、藤田 聡<sup>1</sup>、平元 侑<sup>1</sup>  
平井 希<sup>1</sup>、青木 和哉<sup>1</sup>、岩淵 聡<sup>1</sup>

東邦大学 医療センター <sup>1</sup>大橋病院 <sup>2</sup>佐倉病院

A4-3 くも膜下出血後の遷延性意識障害にリバスチグミン（イクセロンパッチ）が奏功した一例

寺尾 健、酒井 直之

谷津保健病院 脳神経外科

A4-4 脳卒中後の意識障害と「せん妄」に対するリバスチグミンの治療効果  
平川 亘<sup>1</sup>、木暮 道夫<sup>2</sup>、岩永 昌敏<sup>3</sup>、中原 英男<sup>3</sup>、池袋 香<sup>3</sup>、野本 智永<sup>4</sup>  
池袋 賢一<sup>5</sup>  
誠弘会池袋病院 <sup>1</sup>脳神経外科 <sup>2</sup>外科 <sup>3</sup>内科 <sup>4</sup>整形外科 <sup>5</sup>小児外科

A4-5 頭部外傷後遷延性意識障害患者に対する鍼治療による運動誘発電位の増加効果  
米澤 慎悟、松本 淳、野村 悠一、池亀 由香、西山 紀郎、兼松 由香里  
浅野 好孝、篠田 淳  
木沢記念病院 中部療護センター

A4-6 鍼治療が有用であった頭部外傷後遷延性意識障害患者2症例  
松本 淳、米澤 慎悟、野村 悠一、池亀 由香、西山 紀郎、兼松 由香里  
浅野 好孝、篠田 淳  
木沢記念病院 中部療護センター

## 特別シンポジウム SS3

17:00~18:30

### 『慢性期軽度意識障害の評価スケール』

座長： 松居 徹 埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科  
高橋 弘 医療法人景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

SS3-1 意識障害の複眼的定義および重度意識障害評価尺度に対する Rasch 分析の試み

近藤 和泉

独立行政法人国立長寿医療研究センター 機能回復診療部

SS3-2 慢性期意識障害の評価法の具現化- 最終段階への階段  
高次脳機能障害の観点からみた意識障害

前島伸一郎 岡本さやか 岡崎 英人 園田 茂

藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学Ⅱ講座

SS3-3 慢性期軽症意識障害における神経心理学的評価法

大沢 愛子

国立長寿医療研究センター

SS3-4 慢性期意識障害スコアと電気生理学的評価の意義について

山本 隆充

日本大学医学部脳神経外科学系応用システム神経科学分野

SS3-5 慢性期意識障害の評価法の具現化- 最終段階への階段

松居 徹

埼玉医科大学 総合医療センター 脳神経外科